

(2)

2

【特許請求の範囲】

面像情報に応じて複数のオリフィスから記録液滴を吐出して被記録媒体上に画像を形成するインクジェット記録装置の記録ヘッド作成方法において、互いに連通するオリフィス部、圧力室部およびインク流路部の複数組と、前記インク流路部と連通する共通液室部と、これらを囲む接着材流入溝が一側面に形成された基板の第一端面に天板を、該天板の外側面に電気機械変換体を夫々接着した後、前記基板および天板のオリフィス部と直角に対向する側縁をオリフィス部に達するまで切削することを特徴としたインクジェット記録装置における記録ヘッド作成方法。

⑤ 日本国特許庁(JP) ⑥ 特許出願公開

⑦ 公開特許公報(A) 平1-228861

⑧ Int.Cl.⁴ ⑨ 公開 平成1年(1989)9月12日
B 41 J 3/04 ⑩ 特許庁 特許庁 特許庁 特許庁 特許庁 特許庁
H-7513-2C
A-7513-2C

⑪ 発明の名称 インクジェット記録装置における記録ヘッド作成方法

⑫ 特 願 昭63-57152

⑬ 出 願 昭63(1988)3月9日

⑭ 発 明 者 下 田 準 二 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社
⑮ 発 明 者 横 口 芳 之 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社
⑯ 発 明 者 山 本 真 由 美 神奈川県川崎市高津区下野毛770番地 キャノン株式会社
⑰ 出 願 人 キャノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
⑱ 代 理 人 弁護士 福 永 久 夫

(67) 【要約】

【目的】 接着材流入溝が一側面に形成された基板の一面に天板を、天板の外側面に電気機械変換体を夫々接着した後、基板および天板のオリフィス部と直角に対向する側縁をオリフィス部に達するまで切削することにより、基板と天板を均一に隙間無く接着すると共に基板と天板に対する素材上の制約を無くするようにする。
【構成】 基板11と天板12並びに天板12と電気機械変換素子13を夫々接着剤で接着する。基板11と天板12間では基板11の上面の形状が微細なもので、天板12の下面に接着剤20をスピンコートにより薄く、均一に塗布した後、両者を貼合わせる。また、電気機械変換素子13は、基板11に形成した圧力室部15と対応する位置に貼合わせる。この貼合わせた基板11と天板12を銅線Aまで、即ちオリフィス部14と直角に対向する縁部をオリフィス部14に達するまで、切断または研摩により切削して、オリフィス部14を露出させる。天板12の周縁部の接着剤20の露上がりは、基板11周縁部の接着剤流入溝18で吸収できる。

【インク ジェット 記録 ヘッド 作成 素材 制約 接着 剤 基板 天板 接着剤 スピン コート 貼合 電気 機械 変換 素子 圧力室部 対応 オリフィス部 直角 縁部 切削 露出 接着剤 流入溝】

(4)

⑨Int. Cl. 1
B 41 J 3/04
特許庁配号
103
庁内整理番号
H-753-2C
A-753-2C
審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

①特 原 昭63-57152
②出 原 昭63(1968) 3月9日

9
 :
 1
 :

100

出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
代理人 弁護士 福森 久夫
⑦代理人

代理人 井理士 福森 久夫

1. 説明の名称

ある記録装置（インク）を吐出して該記録媒体（例えば紙）上に關係を形成するインクジェット記録装置における記録ヘッド作動方法に関する。

〔従来の技術〕

[illegible][illegible]

【産業上の利用分野】

本発明は価値情報に応じて、数量のオプティマス

-582-

【発明が解決しようとする問題点】

[illegible]

の値域にひらがある場合には、高圧圧縮をして、方法に異質が存在する。

[illegible]

【問題を解決するための手段】

[illegible]

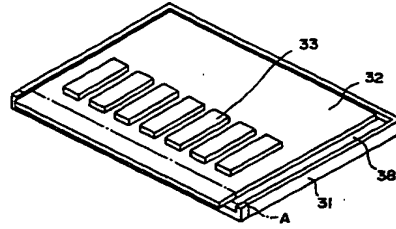
【实例例1】

以下本発明の実施例を図面を参照して説明する。

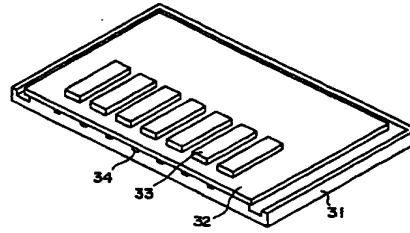
示してあるが、この数に限定されない)、建設を
結合させる

[illegible][illegible]

第 7 圖



第 8 圖



(7)

特開平1-228861(5)

特開平1-228861